



町に関する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。



第64回 益城町消防団出初式

恒例行事の益城町消防団出初式が1月21日、木山中サブグラウンドで行われました。遠くに見える山々には霧が幾重にも重なり、うつつすらと霜が降りた寒々しい朝でしたが、集結した消防団員たちは、寒い素振りなど微塵も感じさせず、精悍な顔つきで式に臨みました。規律正しい分列行進により厳かな雰囲気での式が始まると、西村町長が式辞で、「ここ数年、日本全国でさまざまな災害が発生しています。災害はいつ、どこで発生するか予測が付きません。町では、町民一人一人が「安心・安全なまちづくり」をもっとも重要な課題としてとらえ、複雑かつ多様化する災害や予期せぬ事態に的確に対応できる体制づくりを進めています。その一翼を担う消防団への町民の期待と信頼は、非常に大きいもの



グラウンドから望む山々には朝霧が

少しでも何かが残せたら

青年海外協力隊の活動から帰国

JICAの青年海外協力隊派遣事業に参加した看護師の川添梨沙さん(馬水南)が、パラグアイでの活動を終え、1月22日に町長室を訪れ帰国表敬しました。

現地では、妊産婦・乳幼児健診や、生活習慣病の改善指導にあたった川添さん。「味付けに塩分がたくさん使われる土地柄、高血圧などを抱えている人が多くいました。原住民の人たちなどとは、特に言葉の問題などで苦労しましたが、私が活動したことが彼らの中に何かしら残ってくれたら嬉しい」と振り返りながら話しました。



表敬に訪れた川添さん